

みんなで守る  
地域の未来Project

2025年

Save Our  
future news

発行者  
愛媛県立松山工業高等学校  
防災リーダー・グローバルスタディー  
〒790-0021  
愛媛県松山市真砂町1番地  
TEL089-931-8195



# 四国ユース環境活動発表大会 優秀賞！

今回の活動では、GGBプロジェクト (Global・Generation・防災) と銘打ち全世界、全世代へと防災啓発活動を展開した。保育園児、幼稚園児を対象とした簡単で分かりやすい防災体操の考案、久米中学校3年生約300名を対象としたクイズを通して防災について学ぶ出前授業、昨年のマイタイムラインから発展させた英語版の開発、マイタイムライン配布、課題研究を活用したオンラインゲームや簡単な工作などを行った。

## GGBプロジェクト

今年度のSaveOurFutureの活動では、昨年度と同様にSDGs17のゴールのうち11番の「住み続けられるまちづくり」をメインにテーマ設定を行った。多くの出前授業やプロジェクト、そして開発によって、防災啓発活動をメインに行い、愛媛県民の防災意識向上に貢献したと考えている。



## テーマ設定



まつやま環境フェアでの様子

このキャラクターは、「まつやま環境フェア」にて、シール化してガチャガチャにし、多くの保育園児から幼稚園児に手に取ってもらったことができた。



実際の防災キャラクター

保育園児や幼稚園児を対象とした、防災を身近に感じてもらうための防災キャラクターを開発した。開発には生成AIを利用し、松山工業高校の略称である「マツコウ」が小さく入ったもの、松山の八科の略称が小さく刻まれているものなど松工らしさを取り入れたものの他に、活動名である「SaveOurFuture」の略称である「SOF」をモチーフに作られたものもあり、オリジナリティが光るキャラクターとなった。

## 防災キャラクターの開発



津田中学校での様子

津田中学校では、味酒小学校と同じく、「クイズ地域防災」の出前授業を行った。松山市が南海トラフ直面地域ということもあり、防災についての知識や関心を高く持ってくれているように感じた。



味酒小学校での様子

今年、多数の小中学校へ出前授業に出向いた。まず、味酒小学校では、防災に纏わるクイズを出題し、クイズを通して防災についての知識を楽しく身につけてもらう「クイズ地域防災」を行った。小学校への出前授業は初の試みだったものの、その後のアンケートでも、「防災についての知識が深まった」という前向きなフィードバックを受けることができた。

## 出前授業

## 防災リーダー募集!!

現在、防災リーダー募集中です。防災やSDGsに興味がある人、楽しそうだなと思う人ぜひ一緒に活動しませんか？



西中学校での様子

また、松山市立西中学校では、避難所運営について主体的に考える「避難所運営ラッピング」を行った。避難所運営において浮き上がる課題を提起し、それについての解決策をともに考えた。中学生の画期的な意見にこちらも学ばせてもらう部分がたくさんあった。しかし、中学生には難しいとの声もあり、どの年代の人でも身近に考えられるよう改善していく所存だ。



# みんなで守る 地域の未来Project

# Save Our 2025年 future news

発行者  
愛媛県立松山工業高等学校  
防災リーダー・グローバルスタディー  
〒790-0021  
愛媛県松山市真砂町1番地  
TEL089-931-8195



意見を出している様子

松山防災リーダー育成センター主催の令和7年度ジュニア防災クラブ発足式へ参加した。学校にあったらいいと思う防災の仕組みや、災害時に役立つ物についての案を出し合った。斬新な意見が多く、とても充実した回となった。

## ジュニア防災クラブ 発足式



防災エクササイズの様子

防災エクササイズは、幼稚園児からご年配の方まで全ての人を対象にした、体を動かしながら楽しく防災について知ってもらうというコンセプトの元に作られた踊りだ。音楽に合わせて避難の際のポイントを端的に知ることができるといふ大きな利点がある。曲作りや振付は松工自身で作上げたもので、明るい曲調が特徴だ。

## 防災エクササイズ の開発



地域実践交流会での様子

国立大洲青少年交流の家で行われた第18回地域教育実践交流会へ参加した。ここでは、県内外問わず色々な団体の活動発表を聞き、アイデアを取り入れたり、知見を広げたりと、とても意義のある時間を過ごすことができた。交流会の機会では、さまざまな年代の方と交流することで新たな考えや知恵を学ぶことができた。

## 地域実践交流会への参加



防災人生ゲームの様子

防災交流会では、大学生と交流し、風水害24や防災人生ゲームを通して、防災に関する知識や実践に起こり得るハプニングの対処法を楽しみながら身に付けることができた。

## 防災交流会

## 豆知識



### ●断水時の洗濯は チャック付きポリ袋!!

災害時の断水にで困ることの一つに「洗濯」がある。洗濯機の使用が難しいときに役立つのが、「チャック付きポリ袋」だ。  
①中に1リットル程度の水と少量の洗剤、数枚の衣類を入れ、空気を抜いてもみ洗いする。  
②絞りながら余分な水を排水した  
③再度同量の水を袋に入れる。  
④袋を振るなどしてすすぎ、衣類についた洗剤を落とす。絞りながら排水すれば完了だ。

### ●容器を使う洗濯方法も!!

チャック付きポリ袋のほかにも、一般的には洗面器やバケツなどの容器を使った洗濯方法もある。  
①容器を2つ用意する。  
②衣類が浸かる程度の水を容器に入れる。  
③片方の容器に洗剤を加え、もみ洗いをする。  
④もう片方の容器に衣類を移し、しっかりとすすいで絞る。

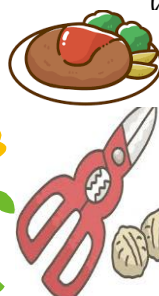
### ●停電時の行動は アクションシートへ!!



大地震が発生し、マンションが停電すると戸建て住宅以上に不便な生活が強いられる。そんなときに、マンションの管理組合が備える災害時に求められる行動を簡潔にまとめた「アクションシート」と呼ばれる指示書が存在する。アクションシートは、備蓄品の保管場所を周知する役割や災害時に情報発信を行う役割を果たす。この「アクションシート」がマンションを管理する組合、そしてマンションに住む全ての人に知れ渡ることを願う。

### ●キッチンバサミの活躍

普段使いできるキッチンバサミは、日々の台所だけでなく、災害時にも活躍する優秀アイテムとなっている。災害時は水が貴重となり、洗いを減らす工夫が欠かせない。そこでキッチンバサミを使うことで、食材を直接切って鍋に入れられるため、まな板や包丁の洗い物をなくすることができる。使用後も除菌シートなどで拭けば、簡単に衛生的に保つことができる。また、キッチンバサミは一般的に広く使われる商品であるため、買いやすい。長さも20cmで手に馴染みやすい。そのため、料理初心者の人でも手を汚さない且つ怪我をせず料理をすることが可能。被災生活では、栄養も肝心になるため、災害時の頼れるグッズとして常備しておくとうい。



## 防災リーダー募集!!

現在、防災リーダー募集中です。防災やSDGsに興味がある人、楽しそうだなと思う人ぜひ一緒に活動しませんか？